

第21回 香川県立病院経営評価委員会会議次第

日 時：令和6年10月17日（木）14時00分～

場 所：香川県庁本館12階 第6・7会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

（1）令和5年度県立病院事業会計決算見込みについて

（2）第4次県立病院中期経営目標及び中期実施計画の取組状況について

（3）その他

4 閉 会

[配布資料]

・令和5年度県立病院事業会計決算見込みの概要と中期実施計画の取組状況

香川県立病院経営評価委員会委員

役 職	氏 名	職 業 等
会 長	くめがわ はじめ 久米川 啓	一般社団法人香川県医師会 会長
委 員	おかざき み え こ 岡崎 美恵子	公認会計士
〃	きなぎ すずむ 佐柳 進	特定医療法人茜会 よしみず病院 顧問
〃	たにだ かずひさ 谷田 一久	東京都立大学客員教授
〃	にしむら としこ 西村 登志子	香川県母子愛育連合会 副会長
〃	まなべ ようこ 真鍋 洋子	アイル・パートナーズ株式会社 代表取締役会長
〃	やまもと たかゆき 山本 隆之	公認会計士

(敬称略、委員は五十音順)

令和5年度県立病院事業会計決算見込みの概要と 中期実施計画の取組状況

●令和5年度県立病院事業会計決算見込みの概要	P 1
(参考) 香川県立病院の現状とこれまでの取組み	P 3
●中期実施計画の取組状況	P 5
病院局	P 5
中央病院	P 11
丸亀病院	P 19
白鳥病院	P 27

令和5年度県立病院事業会計決算見込みの概要

① 収益的収支の状況

(消費税抜、単位:百万円、%)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	伸 率	
病院事業収益	総 収 益	27,704	29,899	△ 2,195	△ 7.3
	医業収益	23,721	22,810	911	4.0
	うち入院収益	15,286	14,810	476	3.2
	うち外来収益	7,157	6,882	275	4.0
	医業外収益	3,969	7,086	△ 3,117	△ 44.0
	うち一般会計繰入金	2,192	2,324	△ 132	△ 5.7
	うち他会計補助金	528	3,473	△ 2,945	△ 84.8
	特別利益	14	3	11	366.7
病院事業費用	総 費 用	29,570	28,769	801	2.8
	医業費用	28,091	27,430	661	2.4
	うち給与費	14,427	14,315	112	0.8
	うち退職給付費	1,090	1,035	55	5.3
	うち材料費	7,982	7,501	481	6.4
	うち経費	3,733	3,712	21	0.6
	うち減価償却費	1,703	1,688	15	0.9
	医業外費用	1,367	1,330	37	2.8
	特別損失	112	9	103	1,144.4
総 収 支	△ 1,866	1,130	△ 2,996		
累積欠損金	△ 5,615	△ 1,245	△ 4,370		

② 病院ごとの収支状況

(単位:百万円)

病 院 名	項 目	令和5年度	令和4年度	増減	主な増減要因
中央病院	総収益	23,550	25,549	△ 1,999	<収益> ・入院収益 +417 ・外来収益 +297 ・他会計補助金 △2,693 <費用> ・給与費 +96 ・材料費 +432 ・経費 +22
	総費用	24,465	23,829	636	
	総収支	△ 915	1,720	△ 2,635	
丸亀病院	総収益	1,534	1,555	△ 21	<収益> ・入院収益 +2 ・外来収益 △14 ・他会計補助金 △44 <費用> ・給与費 +8 ・材料費 △5 ・経費 +13
	総費用	1,906	1,843	63	
	総収支	△ 372	△ 288	△ 84	
白鳥病院	総収益	2,620	2,795	△ 175	<収益> ・入院収益 +56 ・外来収益 △8 ・他会計補助金 △208 <費用> ・給与費 △20 ・材料費 +54 ・経費 +16
	総費用	3,199	3,097	102	
	総収支	△ 579	△ 302	△ 277	

③ 資金収支の状況

(単位:百万円)

収益的収支 (a)	損益勘定留保資金 (b)	資本的収支 (c)	単年度資金収支 (d)=(a)+(b)+(c)
△ 1,866	989	△ 817	△ 1,694

※損益勘定留保資金は、減価償却費や長期前受金戻入など、現金の収入・支出を伴わないもの

④ 患者数・診療単価・主な指標の状況

区 分	入 院									外 来						主な指標			
	延患者数(人)			稼働病床利用率 (%)			診療単価(円)			延患者数(人)			診療単価(円)						
	令和5年度	令和4年度	増 減	令和5年度	令和4年度	増 減	令和5年度	令和4年度	増 減	令和5年度	令和4年度	増 減	令和5年度	令和4年度	増 減	項目	令和5年度	令和4年度	R5計画
中央病院	134,494	135,116	△ 622	68.9	69.5	△ 0.6	99,149	95,603	3,546	228,338	232,718	△ 4,380	27,261	25,473	1,788	総収支(百万円)	△ 4,370	1,130	△ 753
丸亀病院	32,937	32,832	105	57.7	57.7	0.0	17,426	17,430	△ 4	29,196	30,073	△ 877	8,864	9,060	△ 196	経常収支比率(%)	94.0	104.0	97.3
白鳥病院	29,509	32,570	△ 3,061	54.5	60.3	△ 5.8	46,680	40,548	6,132	64,233	72,651	△ 8,418	10,477	9,380	1,097	医業収支比率(%)	84.4	83.2	87.1
合 計	196,940	200,518	△ 3,578	64.3	65.6	△ 1.3	77,620	73,861	3,759	321,767	335,442	△ 13,675	22,241	20,516	1,725	人件費比率(%)	54.5	56.6	56.0

参考 香川県立病院の現状とこれまでの取組

(1) 香川県立病院の現状等

令和6年3月31日現在

項目	中央病院 (県の基幹病院)	丸亀病院 (県の精神医療の基幹病院)	白鳥病院 (特色ある地域の中核病院)
診療科目	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、肝臓内科、緩和ケア内科、腫瘍内科、糖尿病内科、外科、頭頸(けい)部外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、救急科 (33科)	内科、心療内科、思春期心療内科、精神科、リハビリテーション科、歯科 (6科)	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、心臓血管外科、整形外科、小児科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科 (13科)
許可病床数	一般 533 床 (うち結核 5 床、感染症 2 床) (稼働 533 床 (うち結核 5 床、感染症 2 床))	精神 215 床 (稼働 156 床)	一般 148 床 (稼働 148 床)
主な指定等	<ul style="list-style-type: none"> 救命救急センター 救急告示病院 地域医療支援病院 基幹災害拠点病院 第一種感染症指定医療機関 へき地医療拠点病院 へき地医療支援センター 地域がん診療連携拠点病院 (高度型) がんゲノム医療連携病院 DPC適用病院 (特定病院群) 臨床研修病院 等 	<ul style="list-style-type: none"> 応急入院指定病院 精神科救急指定病院 精神科救急拠点病院 医療観察法に基づく指定通院医療機関 精神科救急情報センター 依存症専門医療機関 (アルコール) 指定自立支援医療機関 災害拠点精神科病院 広域救護病院 等 	<ul style="list-style-type: none"> 救急告示病院 へき地医療拠点病院 広域救護病院 臨床研修病院 (協力型) 等

中期実施計画の主な取組

病院局

区分	令和5年度の主な取組	令和6年度の主な取組予定
1. 良質な医療サービスの提供	①医療機能の充実 ②地域連携の充実 ・ 県立病院間連携の促進(診療応援の充実) ③医療の安全と質の向上 ・ 認定看護師の育成 ・ 医療安全研修会の開催 ④患者サービスの向上 ・ 患者満足度調査の実施 ・ 中央病院患者サポートセンターを活用した効率的な入退院支援 ⑤地域医療への貢献	①医療機能の充実 ②地域連携の充実 ・ 県立病院間連携の促進(診療応援の充実) ③医療の安全と質の向上 ・ 認定看護師の育成 ・ 医療安全研修会の開催 ④患者サービスの向上 ・ 患者満足度調査の実施 ・ 中央病院患者サポートセンターを活用した効率的な入退院支援 ⑤地域医療への貢献
2. 医療人材の確保・育成	①医師の確保・育成 ・ 白鳥病院の医師確保(寄附講座の設置) ②医療スタッフの確保・育成 ・ 採用試験の充実(大阪会場での開催) ・ 専門看護師の長期研修派遣(派遣者なし) ・ 看護学生を対象としたインターンシップ、Web説明会の実施、県立保健医療大学との連携強化 ・ 新卒看護師の離職防止対策(研修期間の見直しと研修内容の強化) など ③事務職員の育成 ・ 3病院の経営分析と改善策の共同立案 ④勤務環境等の改善・充実 ・ 職員満足度調査の実施、ワークライフバランスの推進 ・ 院内保育所の充実(定員拡大、夜間保育回数増) ・ オンライン看護手順の導入 ・ 病棟看護師の業務改善(病院局と中央病院の連携による超過勤務の抑制等)	①医師の確保・育成 ・ 白鳥病院の医師確保(寄附講座の設置) ②医療スタッフの確保・育成 ・ 採用試験の充実(募集時期の前倒し、大阪会場での開催) ・ 専門看護師の長期研修派遣 ・ 看護学生を対象としたインターンシップ、Web説明会の実施、県立保健医療大学との連携強化 ・ 新卒看護師の離職防止対策(研修期間の見直しと研修内容の強化) など ③事務職員の育成 ・ 3病院の経営分析と改善策の共同立案 ④勤務環境等の改善・充実 ・ 職員満足度調査の実施、ワークライフバランスの推進 ・ オンライン看護手順の導入 ・ 院内保育所の充実(定員拡大、夜間保育回数増) ・ 離職防止策の充実 ・ 病棟看護師の業務改善(病院局と中央病院の連携による看護業務の効率化)
3. 災害等への対応力の強化	①感染症対策の強化 ・ 新型コロナウイルス感染症対策の実施 ②大規模災害への対応力の強化 ・ 災害時備蓄物資等の計画的な整備 ・ 災害時連絡体制の整備・強化	①感染症対策の強化 ・ 新型コロナウイルス感染症対策の実施 ②大規模災害への対応力の強化 ・ 災害時備蓄物資等の計画的な整備 ・ 災害時連絡体制の整備・強化
4. 安定的な病院経営の確立	①経営力の強化 ・ 経営会議、経営評価委員会の開催 ・ 職員提案の推進、病院事業管理者との意見交換 ②運営体制の強化 ③収益の確保 ・ 一般会計繰入金の確保、補助金等の活用 ・ 新たな施設基準届出に向けた支援 ・ 医療機器の計画的な整備と有効活用 ④費用の適正化 ・ 診療材料の共同購入及び効果検証 ・ 3病院一括の薬価交渉 ・ 委託費の適正化 ⑤資金収支の改善 ・ 未収金の発生防止と回収促進	①経営力の強化 ・ 経営会議、経営評価委員会の開催 ・ 職員提案の推進、病院事業管理者との意見交換 ②運営体制の強化 ③収益の確保 ・ 一般会計繰入金の確保、補助金等の活用 ・ 新たな施設基準届出に向けた支援 ・ 医療機器の計画的な整備と有効活用 ④費用の適正化 ・ 診療材料の共同購入及び効果検証 ・ 3病院一括の薬価交渉 ・ 委託費の適正化 ⑤資金収支の改善 ・ 未収金の発生防止と回収促進

収支計画の達成状況

(「R5計画差」はR5計画額とR5実績額の差、
「R5前年度差」はR4実績額とR5実績額の差を表す。)

病院局

(単位 百万円)

項目	区分	第3次←→第4次					R6	R7	R5計画差	計画差の要因、取組等
		R1	R2	R3	R4	R5			R5前年度差	
①収益的収支										
収益計 (A)	計画	26,551	26,907	26,749	26,630	26,932	27,209	27,471	772	
	実績	26,548	28,949	29,917	29,899	27,704			△ 2,195	
医業収益 (A1)	計画	22,906	23,434	22,205	22,731	23,012	23,276	23,512	709	
	実績	22,591	21,059	23,020	22,810	23,721			911	
入院収益	計画	15,066	15,581	14,318	14,730	14,941	15,134	15,297	345	新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、患者数は回復していないものの、中央病院を中心に、高度医療・先進的医療を必要とする患者の受け入れを増やしたことから、患者1人あたりの診療単価が増加し、増収となった。
	実績	14,512	13,591	14,969	14,810	15,286			476	
外来収益	計画	6,576	6,576	6,651	6,765	6,835	6,906	6,979	322	新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、患者数は回復していないものの、中央病院、白鳥病院において、抗がん剤を使用する診療単価の高い外来患者が増加したことなどにより、患者1人あたりの診療単価が増加し、増収となった。
	実績	6,870	6,352	6,824	6,882	7,157			275	
その他医業収益	計画	1,264	1,277	1,236	1,236	1,236	1,236	1,236	42	
	実績	1,209	1,116	1,227	1,118	1,278			160	
一般会計負担金	計画	483	483	570	570	570	570	570	78	
	実績	476	536	524	468	648			180	
その他	計画	781	794	666	666	666	666	666	△ 36	
	実績	733	580	703	650	630			△ 20	
医業外収益 (A2)	計画	3,641	3,464	4,524	3,899	3,902	3,918	3,891	67	
	実績	3,950	7,286	6,883	7,086	3,969			△ 3,117	
一般会計繰入金	計画	2,297	2,141	2,475	2,475	2,474	2,474	2,474	△ 282	
	実績	2,392	2,400	2,329	2,324	2,192			△ 132	
負担金	計画	2,294	2,138	2,468	2,468	2,468	2,468	2,468	△ 299	
	実績	2,385	2,393	2,322	2,317	2,169			△ 148	
補助金	計画	3	3	7	7	6	6	6	17	
	実績	7	7	7	7	23			16	
長期前受金戻入	計画	796	776	758	878	879	897	870	37	
	実績	805	827	766	888	916			28	
その他医業外収益	計画	548	547	1,291	546	549	547	547	312	新型コロナウイルス感染症に係る補助金により計画を上回っている。(前年度からは減少)
	実績	753	4,059	3,788	3,874	861			△ 3,013	
特別利益	計画	4	9	20	0	18	15	68	△ 4	
	実績	7	604	14	3	14			11	

収支計画の達成状況

(「R5計画差」はR5計画額とR5実績額の差、
「R5前年度差」はR4実績額とR5実績額の差を表す。)

病院局

(単位 百万円)

項目	区分	第3次←		→第4次		R5	R6	R7	R5計画差	計画差の要因、取組等
		R1	R2	R3	R4				R5前年度差	
費用計 (B)	計画	27,509	27,269	27,876	27,980	27,685	27,821	27,502	1,885	
	実績	27,910	27,266	28,107	28,769	29,570			801	
医業費用 (B1)	計画	26,198	25,867	26,591	26,706	26,420	26,567	26,258	1,671	
	実績	26,710	25,630	26,782	27,430	28,091			661	
給与費	計画	12,407	12,458	13,995	13,878	13,576	13,674	13,353	451	
	実績	12,148	13,590	13,813	13,943	14,027			84	
退職給付費	計画	1,140	1,191	970	1,007	698	1,007	698	392	R5年度の退職者数が計画より多く、退職給付費が増加した。
	実績	866	987	1,004	1,035	1,090			55	
退職給付費以外	計画	11,267	11,267	13,025	12,871	12,878	12,667	12,655	59	
	実績	11,282	12,603	12,809	12,908	12,937			29	
材料費	計画	6,827	6,827	7,018	7,100	7,138	7,190	7,242	844	
	実績	7,206	6,686	7,543	7,501	7,982			481	
薬品費	計画	3,586	3,586	3,796	3,852	3,886	3,922	3,957	371	中央病院、白鳥病院において、外来化学療法として抗がん剤を使用する患者数が増加したことなどから増加した。
	実績	3,790	3,534	3,868	3,983	4,257			274	
診療材料費	計画	3,185	3,185	3,183	3,209	3,213	3,229	3,246	477	高度医療の積極的な提供に努め、中央病院において循環器内科等で使用する高額材料の使用量が増加し、白鳥病院においてペースメーカーや電極カテーテル等の高額材料の使用料が増加したことなどから増加した。
	実績	3,378	3,122	3,645	3,485	3,690			205	
経費	計画	4,666	4,665	3,772	3,772	3,742	3,722	3,722	391	物価高騰、人件費上昇などに伴い、光熱水費や委託費等が増加した。
	実績	5,074	3,553	3,709	4,082	4,133			51	
減価償却費	計画	2,081	1,635	1,470	1,679	1,677	1,711	1,661	26	
	実績	2,081	1,625	1,456	1,690	1,703			13	
その他医業費用	計画	217	282	336	277	287	270	280	△ 41	
	実績	201	176	261	214	246			32	
医業外費用 (B2)	計画	1,151	1,242	1,272	1,262	1,253	1,242	1,232	114	
	実績	1,178	1,230	1,317	1,330	1,367			37	
特別損失	計画	160	160	13	12	12	12	12	100	白鳥病院の医師公舎解体に係る固定資産売却損等
	実績	22	406	8	9	112			103	
医業収支 (A1-B1)	計画	△ 3,292	△ 2,433	△ 4,386	△ 3,975	△ 3,408	△ 3,291	△ 2,746	△ 962	
	実績	△ 4,119	△ 4,571	△ 3,762	△ 4,620	△ 4,370			250	
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画	△ 802	△ 211	△ 1,134	△ 1,338	△ 759	△ 615	△ 87	△ 1,009	
	実績	△ 1,347	1,485	1,804	1,136	△ 1,768			△ 2,904	
総収支 (X=A-B)	計画	△ 958	△ 362	△ 1,127	△ 1,350	△ 753	△ 612	△ 31	△ 1,113	
	実績	△ 1,362	1,683	1,810	1,130	△ 1,866			△ 2,996	

収支計画の達成状況

(「R5計画差」はR5計画額とR5実績額の差、
「R5前年度差」はR4実績額とR5実績額の差を表す。)

病院局

(単位 百万円)

項目	区分	第3次←		→第4次		R5	R6	R7	R5計画差	計画差の要因、取組等
		R1	R2	R3	R4				R5前年度差	
(損益勘定留保資金) (Y)	計画	1,384	1,018	888	937	924	928	864	65	
	実績	1,368	878	847	924	989			65	
②資本的収支										
収入計 (C)	計画	1,192	2,604	3,124	1,547	1,709	1,345	1,496	159	
	実績	1,093	1,757	3,061	1,640	1,868			228	
企業債	計画	585	1,852	2,124	701	842	462	583	119	(建設改良費に記載の要因と同様)
	実績	523	568	2,179	711	961			250	
長期借入金	計画	103	114	58	72	71	71	72	△ 41	
	実績	31	15	19	44	30			△ 14	
一般会計繰入金	計画	503	637	773	773	795	810	840	81	
	実績	509	751	863	885	876			△ 9	
負担金	計画	493	621	745	749	771	785	814	6	
	実績	491	724	658	756	777			21	
補助金	計画	10	16	28	24	24	25	26	75	
	実績	18	27	205	129	99			△ 30	
その他	計画	1	1	169	1	1	2	1	0	
	実績	30	423	0	0	1			1	
支出計 (D)	計画	1,723	3,256	3,843	2,311	2,494	2,145	2,321	191	
	実績	1,614	2,150	3,770	2,383	2,685			302	
建設改良費	計画	730	2,009	2,348	805	945	566	687	179	白鳥病院において、MRI、電子カルテシステム等への設備投資が増加した。
	実績	623	831	2,449	867	1,124			257	
企業債償還金	計画	910	1,160	1,402	1,419	1,467	1,512	1,582	24	
	実績	910	1,223	1,233	1,437	1,491			54	
その他	計画	83	87	93	87	82	67	52	△ 12	
	実績	81	96	88	79	70			△ 9	
収支差し引き (Z=C-D)	計画	△ 531	△ 652	△ 719	△ 764	△ 785	△ 800	△ 825	△ 32	
	実績	△ 521	△ 393	△ 709	△ 743	△ 817			△ 74	
③単年度資金収支										
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画	△ 105	4	△ 958	△ 1,177	△ 614	△ 484	8	△ 1,080	
	実績	△ 515	2,168	1,948	1,311	△ 1,694			△ 3,005	

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上
B 対象年度計画以上
C 前年度実績以上

D R1実績以上
E R1実績未満
※減少期待指標は、以上を以下、未達を超に読み替える。

病院局

第3次←第4次 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差		評価 R3	評価 R4	評価 R5	計画差の要因、取組み等
											R5計画	R5前年度差				
1. 良質な医療サービスの提供																
③医療の安全と質の向上																
11	認定看護師数	人	計画	27	29	26	31	33	34	37	1	B	B	B	・R5年度 3名新規取得(心不全看護(中央)1名、精神科看護(丸亀)1名、心不全看護(白鳥)1名)	
			実績	25	25	28	31	34	3							
12	医療安全研修受講率	%	計画	95.0	100.0	60.0	70.0	80.0	90.0	100.0	13.6	-	C	B	・R6.3.5実施(Web研修) 100%の実施を目指すよう3病院に対して改めて周知徹底を図り、Webを活用するなど受講率向上に努めた。	
			実績	中止 (コロナ)	57.6	23.5	43.6	93.6	50.0							
④患者サービスの向上																
15	患者満足調査による満足度(入院)	%	計画	89.5	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	1.0	-	A	A	・計画を達成している。 ・最も満足度が高かったのは「医師からの手術等の説明(94%)、薬剤師・栄養士の接し方(94%)」で、最も満足度が低かったのは「入院中の食事(63%)」であった。	
			実績	91.0	中止 (コロナ)	中止 (コロナ)	95.0	91.0	-							
16	患者満足調査による満足度(外来)	%	計画	89.5	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	3.0	-	A	A	・計画を達成している。 ・最も満足度が高かったのは「看護師・医療技術者の接し方(96%)」で、最も満足度が低かったのは「家族等への紹介(72%)」であった。	
			実績	90.0	中止 (コロナ)	中止 (コロナ)	92.0	93.0	-							
2. 医療人材の確保・育成																
①医師の確保・育成																
19	医師充足率	%	計画	98.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	A	A	A	・充足率は100%だが、中央病院の麻酔科や白鳥病院の内科などは依然として不足している。	
			実績	98.2	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0							
②医療スタッフの確保・育成																
21	新卒看護師の離職率	%	計画	9.5	8.5	15.8	14.1	12.5	10.9	9.3	△ 0.7	B	E	B	・新卒・新任看護師が先輩看護師とペアで業務を行う「ペア体制」を導入するなど、新任者の不安解消を図っている。 ・特に、新型コロナウイルスの影響で病院での実習経験が不十分な職員も多く、看護技術研修の日数を拡充するなどして対応している。	
			実績	13.6	25.5	14.0	30.8	11.8	△ 19.0							
24	事務職員の育成	人	計画	(新設)	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	-	-	-	-	・R5、R6年度に、県立病院課において、3病院の経営分析と改善策の共同立案を実施している。	
			実績		継続実施	継続実施	継続実施	継続実施								

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上
B 対象年度計画以上
C 前年度実績以上D R1実績以上
E R1実績未満

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

病院局

第3次←第4次 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差	評価	評価	評価	計画差の要因、取組み等
											R5前年度差	R3	R4	R5	
4. 安定的な病院経営の確立															
①経営力の強化															
30	経営会議・経営評価委員会の開催	回	計画	a.経営会議は12回、b.評価委員会は毎年1回開催(R3～継続実施)							—	—	—	・経営会議を計4回開催し、経営状況を把握・分析するとともに、経営改善に向け、収支改善に取り組んだ。	
			実績	a.12、b.1	a.12、b.1	継続実施	継続実施	継続実施			—	—	—		
31	職員提案の実施	件	計画	80	100	継続実施	継続実施	継続実施			—	—	—	・R5 提案総数33件、うち実施済み・実施中8件 ・例:患者待合室の掲示物を工夫し、看護支援外来や断酒会等、病院の各種取り組みをPRする(丸亀病院)など	
			実績	56	65	継続実施	継続実施	継続実施			—	—	—		
④費用の適正化															
43	人件費比率(退職給付費を除く) [対医業収益比率]	%	計画	49.2	48.1	58.7	56.6	56.0	54.4	53.8	△ 1.5	B	B	B	中央病院を中心に高度医療の積極的な提供に努めたことなどにより医業収益が増加したことから、人件費比率は改善(低下)した。
			実績	49.9	59.8	55.6	56.6	54.5			△ 2.1				
44	人件費比率 [対医業収益比率]	%	計画	54.2	53.2	63.0	61.1	59.0	58.7	56.8	0.1	B	B	C	同様に医業収益が増加した一方で、R5年度の退職者が計画よりも多く給与費が増加したことにより、前年度から改善(低下)したものの、計画をわずかに超過した。
			実績	53.8	64.5	60.0	61.1	59.1			△ 2.0				
46	経常収支比率	%	計画	97.1	99.2	95.9	95.2	97.3	97.8	99.7	△ 3.3	A	A	E	同様に医業収益は増加したものの、物価高騰等により、給与費、材料費、経費等が増加したことから、経常収支比率は悪化(低下)した。 (※前年度からの大幅な悪化は、主に医業外収益(新型コロナウイルス感染症関連補助金等)の減少による。)
			実績	95.2	105.5	106.4	104.0	94.0			△ 10.0				
47	医業収支比率	%	計画	87.4	90.6	83.5	85.1	87.1	87.6	89.5	△ 2.7	B	E	C	同様に医業収益が増加した一方で、物価高騰などにより、材料費、経費等が増加したことから、医業収支比率は前年度から改善(上昇)したものの、計画を下回っている。
			実績	84.6	82.2	86.0	83.2	84.4			1.2				
48	材料費対医業収益比率	%	計画	29.8	29.1	31.6	31.2	31.0	30.9	30.8	2.6	E	E	E	中央病院を中心に、抗がん剤治療、高度医療の割合が増加したことにより、薬品費、診療材料費が増加し、医業収益に占める材料費の比率は悪化(上昇)した。
			実績	31.9	31.7	32.8	32.9	33.6			0.7				
49	うち 薬品費対医業収益比率	%	計画	15.7	15.3	17.1	16.9	16.9	16.8	16.8	1.0	A	E	E	中央病院を中心に、抗がん剤を使用するなど薬品費が高額な治療の割合が増加したことにより、医業収益に占める材料費(薬品費)の比率は悪化(上昇)した。
			実績	16.8	16.8	16.8	17.5	17.9			0.4				
50	うち 診療材料費医業収益比率	%	計画	13.9	13.6	14.3	14.1	14.0	13.9	13.8	1.6	E	C	E	中央病院を中心に高額材料を使用する高度治療の割合が増加したことにより、医業収益に占める材料費(診療材料費)の比率は悪化(上昇)した。
			実績	15.0	14.8	15.8	15.3	15.6			0.3				
⑤資金収支の改善															
51	単年度資金収支	百万円	計画	△ 105	4	△ 958	△ 1,177	△ 614	△ 48	8	△ 1,080	A	A	E	
			実績	△ 515	2,168	1,948	1,311	△ 1,694				△ 3,005			

中期実施計画の主な取組

中央病院

区分	令和5年度の主な取組	令和6年度の主な取組予定
1 良質な医療サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ①医療機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ後の通常医療の回復 ・手術体制の効率化 ・心臓病・脳卒中医療(脳心連携)の充実 ・がん診療体制の充実 ②地域連携の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・患者サポートセンターによる充実した患者支援と病棟業務削減 ・かかりつけ医機能促進、機能分化 ・紹介患者増加のための連携会議 ③医療の安全と質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパスの作成数・適用率の向上 ・医療の質評価指標の活用 ・抗菌薬の適正使用の徹底 ④患者サービスの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・患者サポートセンターを活用した効率的な入退院支援 ・外来待ち時間短縮の取組み ⑤地域医療への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・救急医療体制の充実に向けたベッドコントロール(病床の有効活用) ・救急患者受入体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①医療機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ後の通常医療の回復 ・手術体制の効率化 ・心臓病・脳卒中医療(脳心連携)の充実 ・がん診療体制の充実 ・効率的な病床運用 ②地域連携の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・患者サポートセンターを活用した効率的な入退院支援 ・かかりつけ医機能促進、機能分化 ③医療の安全と質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパスの作成数・適用率の向上 ・医療の質評価指標の活用 ・抗菌薬の適正使用の徹底 ④患者サービスの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・外来待ち時間短縮の取組み ⑤地域医療への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・救急医療体制の充実に向けたベッドコントロール(病床の有効活用) ・救急患者受入体制の充実
2 医療人材の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ①医師の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ支援の充実 ・卒後臨床研修医充足のための説明会やプログラムの継続 ・学生実習・見学受入れの継続 ②医療スタッフの確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識を有する職員の確保・充実 ③事務職員の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントのできる事務職員の確保・育成 ④勤務環境等の改善・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革を実現するための体制の整備 ・院内発表会の開催 ・医師事務作業補助者の業務範囲の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ①医師の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ支援の充実 ・学生実習・見学受入れの継続 ②医療スタッフの確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ支援の充実 ・学生実習・見学受入れの継続 ・マネジメント人材支援 ③事務職員の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントのできる事務職員の確保・育成 ④勤務環境等の改善・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革を実現するための体制の整備の継続 ・ハラスメント対策の強化 ・看護業務に関する検討小委員会の設置による看護業務の効率化
3 感染症・災害等への対応力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ①感染症対策の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症専門医による研修会の開催 ②大規模災害への対応力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の定期的実施 ・DMAT(災害派遣医療チーム)数の維持 	<ul style="list-style-type: none"> ①感染症対策の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症専門医による研修会の開催 ②大規模災害への対応力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の定期的実施 ・DMAT(災害派遣医療チーム)数の維持
4 安定的な病院経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> ①経営力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・各診療科・部署毎の目標・計画の作成及び院長ヒアリングの実施 ・DPC・QI・医事データ等の様々なデータを分析し、フィードバックするための組織の充実 ・チーム医療加算の充実・増加 ③収益の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな施設基準の取得 ・新規入院患者数の増加 ④費用の適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・適正な人員配置 ・委託費の適正化 ・医療の質を担保したコスト管理 ・戦略的施設設備建設等を検討する委員会の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ①経営力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・各診療科・部署毎の目標・計画の作成及び院長ヒアリングの実施 ・DPC・QI・医事データ等の様々なデータを分析し、フィードバックするための組織の充実 ③収益の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな施設基準の取得 ・新規入院患者数の増加 ④費用の適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的施設設備建設等を検討する委員会の継続 ・費用対効果を踏まえた調達推進(薬剤の適正使用、委託費適正化、共同購入活用等)

収支計画の達成状況

(「R5計画差」はR5計画額とR5実績額の差、
「R5前年度差」はR4実績額とR5実績額の差を表す。)

中央病院

(単位 百万円)

第3次←→第4次

項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差	計画差の要因、取組等
									R5前年度差	
①収益的収支										
収益計 (A)	計画	21,670	21,994	22,137	22,057	22,317	22,536	22,769	1,233	
	実績	22,340	24,118	25,389	25,550	23,550	0	0	△ 2,000	
医業収益 (A1)	計画	19,010	19,494	18,890	19,283	19,539	19,776	19,985	1,143	
	実績	19,387	18,077	19,891	19,801	20,682	0	0	881	
入院収益	計画	12,693	13,164	12,135	12,429	12,622	12,798	12,943	713	高度医療の提供(高額手術)を積極的に行ったことによる診療単価の高い入院患者の確保により1人あたり単価が増加したため。
	実績	12,494	11,692	12,911	12,918	13,335			417	
外来収益	計画	5,238	5,238	5,680	5,779	5,842	5,903	5,967	383	患者数は減少しているが、通院治療センターで抗がん剤を使用する診療単価の高い外来患者の増加等により、延患者数1人あたり単価が増加したため。
	実績	5,845	5,418	5,916	5,928	6,225			297	
その他医業収益	計画	1,079	1,092	1,075	1,075	1,075	1,075	1,075	47	
	実績	1,048	967	1,064	955	1,122	0	0	167	
一般会計負担金	計画	401	401	501	501	501	501	501	70	
	実績	405	470	460	394	571			177	
その他	計画	678	691	574	574	574	574	574	△ 23	
	実績	643	497	604	561	551			△ 10	
医業外収益 (A2)	計画	2,660	2,500	3,240	2,774	2,766	2,751	2,725	96	
	実績	2,949	5,712	5,498	5,747	2,862	0	0	△ 2,885	
一般会計繰入金	計画	1,529	1,374	1,513	1,513	1,512	1,512	1,512	△ 231	
	実績	1,594	1,531	1,447	1,416	1,281	0	0	△ 135	
負担金	計画	1,526	1,371	1,506	1,506	1,506	1,506	1,506	△ 240	
	実績	1,587	1,524	1,440	1,409	1,266			△ 143	
補助金	計画	3	3	7	7	6	6	6	9	
	実績	7	7	7	7	15			8	
長期前受金戻入	計画	628	623	605	741	732	718	692	32	
	実績	636	669	610	753	764			11	
その他医業外収益	計画	503	503	1,122	520	522	521	521	295	新型コロナウイルス感染症に係る補助金により計画を上回っている。(前年度からは減少)
	実績	719	3,512	3,441	3,578	817			△ 2,761	
特別利益	計画	0	0	7	0	12	9	59	△ 6	
	実績	4	329	0	2	6			4	

収支計画の達成状況

(「R5計画差」はR5計画額とR5実績額の差、
「R5前年度差」はR4実績額とR5実績額の差を表す。)

中央病院

(単位 百万円)

第3次←→第4次

項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差		計画差の要因、取組等
									R5計画差	R5前年度差	
費用計 (B)	計画	22,383	22,144	22,854	23,011	22,765	22,787	22,526	1,700		
	実績	23,119	22,362	23,266	23,829	24,465	0	0	636		
医業費用 (B1)	計画	21,269	20,952	21,763	21,928	21,690	21,720	21,467	1,536		
	実績	22,093	20,987	22,123	22,672	23,226	0	0	554		
給与費	計画	9,788	9,829	11,117	11,010	10,768	10,796	10,540	349		
	実績	9,681	10,808	11,001	11,021	11,117	0	0	96		
退職給付費	計画	912	953	776	805	558	805	558	314		R5年度の退職者数が計画より多く、退職給付費が増加した。
	実績	693	790	804	828	872			44		
退職給付費以外	計画	8,876	8,876	10,341	10,205	10,210	9,991	9,982	35		
	実績	8,988	10,018	10,197	10,193	10,245			52		
材料費	計画	5,901	5,901	6,323	6,401	6,449	6,498	6,548	884		
	実績	6,525	6,028	6,917	6,901	7,333			432		
薬品費	計画	3,091	3,091	3,387	3,442	3,476	3,511	3,546	414		がん治療等における、高額な抗がん剤や生物学的製剤の使用量の増加によるもの。
	実績	3,406	3,161	3,524	3,634	3,890			256		
診療材料費	計画	2,759	2,759	2,902	2,925	2,939	2,953	2,968	474		循環器内科等で使用する高額材料(TAVI器材、ペースメーカー、植込型除細動器、心筋焼灼術・クライオ術器材等)の使用量が増加したため。
	実績	3,086	2,842	3,367	3,239	3,413			174		
経費	計画	3,661	3,660	2,887	2,887	2,857	2,837	2,837	316		
	実績	3,989	2,710	2,834	3,151	3,173			22		
減価償却費	計画	1,723	1,301	1,153	1,402	1,385	1,357	1,308	23		
	実績	1,722	1,289	1,138	1,418	1,408			△ 10		
その他医業費用	計画	196	261	283	228	231	232	234	△ 36		
	実績	176	152	233	181	195			14		
医業外費用 (B2)	計画	964	1,042	1,080	1,072	1,064	1,056	1,048	115		
	実績	1,006	1,047	1,136	1,148	1,179			31		
特別損失	計画	150	150	11	11	11	11	11	49		
	実績	20	328	7	9	60			51		
医業収支 (A1-B1)	計画	△ 2,259	△ 1,458	△ 2,873	△ 2,645	△ 2,151	△ 1,944	△ 1,482	△ 393		
	実績	△ 2,706	△ 2,910	△ 2,232	△ 2,871	△ 2,544	0	0	327		
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画	△ 563	0	△ 713	△ 943	△ 449	△ 249	195	△ 412		
	実績	△ 763	1,755	2,130	1,728	△ 861	0	0	△ 2,589		
総収支 (X=A-B)	計画	△ 713	△ 150	△ 717	△ 954	△ 448	△ 251	243	△ 467		
	実績	△ 779	1,756	2,123	1,721	△ 915	0	0	△ 2,636		

収支計画の達成状況

(「R5計画差」はR5計画額とR5実績額の差、
「R5前年度差」はR4実績額とR5実績額の差を表す。)

中央病院

(単位 百万円)

第3次←→第4次

項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差	計画差の要因、取組等
									R5前年度差	
(損益勘定留保資金) (Y)	計画	1,185	832	702	766	747	738	669	21	
	実績	1,164	694	678	763	768			5	
②資本的収支										
収入計 (C)	計画	891	2,383	2,704	1,112	1,117	1,119	1,129	△ 49	
	実績	784	1,244	2,712	1,170	1,068	0	0	△ 102	
企業債	計画	462	1,800	1,965	390	390	408	390	△ 52	
	実績	390	501	2,043	391	338			△ 53	
長期借入金	計画	86	97	43	60	60	60	60	△ 41	
	実績	24	10	14	32	19			△ 13	
一般会計繰入金	計画	343	486	623	662	667	650	679	44	
	実績	350	586	655	747	711	0	0	△ 36	
負担金	計画	333	470	596	638	643	626	654	6	
	実績	332	559	510	646	649			3	
補助金	計画	10	16	27	24	24	24	25	38	
	実績	18	27	145	101	62			△ 39	
その他	計画	0	0	73	0	0	1	0	0	
	実績	20	147	0	0	0			0	
支出計 (D)	計画	1,259	2,880	3,316	1,766	1,775	1,759	1,796	△ 18	
	実績	1,142	1,707	3,272	1,805	1,757	0	0	△ 48	
建設改良費	計画	585	1,935	2,118	482	482	501	482	△ 29	
	実績	470	701	2,247	507	453			△ 54	
企業債償還金	計画	608	877	1,123	1,215	1,227	1,206	1,271	21	
	実績	608	929	954	1,234	1,248			14	
その他	計画	66	68	75	69	66	52	43	△ 10	
	実績	64	77	71	64	56			△ 8	
収支差し引き (Z=C-D)	計画	△ 368	△ 497	△ 612	△ 654	△ 658	△ 640	△ 667	△ 31	
	実績	△ 358	△ 463	△ 560	△ 635	△ 689	0	0	△ 54	
③単年度資金収支										
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画	104	185	△ 627	△ 842	△ 359	△ 153	245	△ 477	
	実績	27	1,987	2,241	1,849	△ 836	0	0	△ 2,685	

中期指標の達成状況

(評価基準)

- A R7計画以上
- B 対象年度計画以上
- C 前年度実績以上
- D R1実績以上
- E R1実績未満

中央病院

第3次←→第4次 (太枠: 目標指標)

※減少期待指標は、以上を以下、未達を更に読み替える。

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差	評価	評価	評価	計画差の要因、取組等
											R5前年度差	R3	R4	R5	
1 良質な医療サービスの提供															
①医療機能の充実															
1	救急車・ヘリ受入(搬入)患者数	人	計画	3,650	3,700	3,300	3,350	3,400	3,450	3,540	519	B	A	A	中等症から重症患者を積極的に受け入れており、特に脳神経外科・循環器内科の受入れが多かったため。
			実績	3,727	3,171	3,442	3,550	3,919		369					
2	高額手術件数(10,000点以上)	件	計画	5,490	5,640	5,500	5,600	5,700	5,850	6,000	87	B	B	B	消化器・一般外科の高額手術が増加したため。
			実績	5,983	5,440	5,841	5,798	5,787		△ 11					
②地域連携の充実															
7	患者紹介率	%	計画	78.0	80.0	84.0	83.0	82.0	81.0	80.0	12.8	A	A	A	積極的に紹介患者を受け入れたため。
			実績	76.2	88.6	90.8	92.4	94.8		2.4					
8	紹介患者数	人	計画	(新設)	—	12,300	12,400	12,600	12,800	13,000	350	A	B	B	耳鼻咽喉科・消化器内科・小児科などの診療科の紹介患者数が増加したため。
			実績	(新設)	12,251	13,110	12,513	12,950		437					
9	患者逆紹介率	%	計画	79.0	80.0	95.0	91.0	88.0	86.0	84.0	18.6	A	A	A	逆紹介が医師に浸透してきており、積極的に診療情報提供書を記載できているため。
			実績	83.5	99.3	101.0	110.5	106.6		△ 3.9					
③医療の安全と質の向上															
13	インシデント報告件数	件	計画	3,110	3,110	3,450	3,500	3,550	3,600	3,700	△ 319	A	E	E	入院患者数の減少に伴い、報告数が減少したため。
			実績	3,686	3,419	3,874	3,306	3,231		△ 75					
14	クリニカルパス適用率	%	計画	56.0	58.0	50.4	50.6	50.8	50.9	51.0	2.6	B	A	A	糖尿病内科・小児科・泌尿器科のパス使用患者が増加したため。
			実績	49.3	50.2	50.7	52.0	53.4		1.4					
④患者サービスの向上															
17	外来待ち時間の短縮 (予約時間終期～診療開始)	分	計画	14	14	20	20	20	20	20	4	D	C	D	心臓超音波検査において待ち時間が増加したため。
			実績	24	21	23	22	24		2					
⑤地域医療への貢献															
18	公開講座等開催回数	回	計画	22	22	4	8	20	30	42	△ 4	B	B	C	前年度実績において、当院が開催している出前講座等は一定増えているが、計画値は下回った。
			実績	41	11	8	14	16		2					
2 医療人材の確保・育成															
①医師の確保・育成															
20	臨床研修医数	人	計画	(新設)	—	26	26	26	26	26	2	A	A	A	医学生の見学および実習(香大・岡大・自治医大)等積極的な受入を行っているため。
			実績	(新設)	26	28	28	28		0					
②医療スタッフの確保・育成															
22	実習生受入人数(看護師)	人	計画	500	500	0	0	150	300	400	120	B	B	B	予定されていた実習のキャンセルがなかったことに加え、後から実習人数の追加があったため。
			実績	398	0	264	147	270		123					
23	実習生受入人数(その他)	人	計画	70	70	20	20	50	70	102	△ 4	B	B	C	学生に対して、積極的な受け入れができたが、計画値は下回った。
			実績	101	28	20	46	46		0					

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上

D R1実績以上

B 対象年度計画以上

E R1実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未滿を更に読み替える。

中央病院

第3次←→第4次 (太枠: 目標指標)

No.	項目	単位	区分	第3次←→第4次 (太枠: 目標指標)							R5計画差 R5前年度差	R6	R7	R5計画差 R5前年度差	評価	評価	評価	計画差の要因、取組等
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7					R3	R4	R5	
3 感染症・災害等への対応力の強化																		
① 感染症対策の強化																		
25	感染症に対応する体制の確保	—	計画	(新設)	—	確保	確保	確保	確保	確保	—	—	A	A	A	中等症から重症患者を中心に、新型コロナウイルス感染症患者の受入れの強化を行っていたため。		
			実績	(新設)	確保	確保	確保	—	—	—								
26	感染症専門医による研修会開催件数	件	計画	2	2	1	2	3	4	5	9	9	B	A	A	感染症対策への強化を行ったため。		
			実績	13	1	3	9	12	—	—	3							
② 大規模災害への対応力の強化																		
27	DMAT(災害派遣医療チーム)数	チーム	計画	4	4	6	6	6	6	6	2	2	A	A	A	大規模災害への対応力強化を行ったため。		
			実績	7	6	7	7	8	—	—	1							
28	業務継続計画(BCP)に沿った研修・訓練の実施数	回	計画	(新設)	—	1	1	1	1	1	4	4	A	A	A	大規模災害への対応力強化を行ったため。		
			実績	(新設)	1	5	3	5	—	—	2							
29	防災訓練回数(CBRNE訓練含む)	回	計画	6	6	1	2	3	5	7	0	0	B	E	B	大規模災害への対応力強化を行ったため。		
			実績	7	1	3	1	3	—	—	2							
4 安定的な病院経営の確立																		
③ 収益の確保																		
32	稼働病床利用率	%	計画	86.8	90.0	73.4	70.9	77.6	78.9	80.0	△ 8.7	△ 8.7	C	E	E	病床運用を一部制限した影響により、延入院患者数が減少したため。		
			実績	80.6	69.3	72.4	69.5	68.9	—	—	△ 0.6							
7	患者紹介率(再掲)	%	計画	78.0	80.0	84.0	83.0	82.0	81.0	80.0	12.8	12.8	A	A	A	積極的に紹介患者を受け入れたため。		
			実績	76.2	88.6	90.8	92.4	94.8	—	—	2.4							
9	患者逆紹介率(再掲)	%	計画	79.0	80.0	95.0	91.0	88.0	86.0	84.0	18.6	18.6	A	A	A	逆紹介が医師に浸透してきており、積極的に診療情報提供書を記載できているため。		
			実績	83.5	99.3	101.0	110.5	106.6	—	—	△ 3.9							
34	入院単価	円	計画	75,494	75,794	84,931	90,064	90,155	90,130	89,885	8,994	8,994	A	A	A	急性期充実体制加算の取得により、入院基本料が増加したほか、高額手術および化学療法注射料が増加したため。		
			実績	80,445	86,766	91,603	95,603	99,149	—	—	3,546							
35	外来単価	円	計画	21,047	21,047	24,062	25,128	24,855	24,598	24,355	2,406	2,406	A	A	A	通院治療センターにおける高額な抗がん剤を使用した化学療法に加えて高額な生物学的製剤の使用も増加したため。		
			実績	22,355	23,846	24,809	25,473	27,261	—	—	1,788							
36	1日平均入院患者数	人	計画	459	476	392	378	383	389	395	△ 16	△ 16	C	E	E	病床を一部制限して運用していたため。		
			実績	424	369	386	370	367	—	—	△ 3							
37	1日平均外来患者数	人	計画	1,020	1,024	976	947	967	988	1,012	△ 27	△ 27	B	B	E	整形外科・消化器内科・歯科口腔外科の新患および再来の患者数が減少したため。		
			実績	1,089	935	981	958	940	—	—	△ 18							
38	新入院患者数	人	計画	13,914	14,350	12,875	13,000	13,500	13,700	14,000	△ 766	△ 766	B	E	C	呼吸器外科・心臓血管外科・脳神経外科の患者数が減少したため。		
			実績	13,995	12,147	13,197	12,371	12,734	—	—	363							

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上 D R1実績以上
 B 対象年度計画以上 E R1実績未満
 C 前年度実績以上 ※減少期待指標は、以上を以下、未達を更に読み替える。

中央病院

第3次←→第4次 (太枠: 目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差	評価 R3	評価 R4	評価 R5	計画差の要因、取組等
											R5前年度差				
39	新外来患者数	人	計画	26,840	26,840	26,966	24,000	25,000	26,000	27,000	△ 819	C	E	C	整形外科・小児科・耳鼻咽喉科の患者数が減少したため。
			実績	29,863	22,714	24,313	23,427	24,181		754					
1	救急車・ヘリ受入(搬入)患者数(再掲)	人	計画	3,650	3,700	3,300	3,350	3,400	3,450	3,540	519	B	A	A	中等症から重症患者を積極的に受け入れており、特に脳神経外科・循環器内科の受入れが多かったため。
			実績	3,727	3,171	3,443	3,550	3,919		369					
40	検診センター検診者数	人	計画	8,837	8,801	3,800	4,500	5,500	7,000	7,200	△ 304	B	B	C	新型コロナウイルス感染症等による受検者の当日キャンセルが減少したため、前年度実績より増加したが、計画値は下回った。
			実績	7,193	3,693	5,147	5,138	5,196		58					
41	平均在院日数	日	計画	11.4	11.5	10.4	9.8	9.7	9.6	9.5	0.9	D	E	C	長期入院を要する外科系手術等の患者を一定数受け入れているため、計画値ほど短縮を図れていない。
			実績	10.7	10.5	10.7	10.9	10.6		△ 0.3					
④費用の適正化															
42	後発医薬品割合(数量ベース)	%	計画	70.0	80.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	4.9	A	A	A	後発医薬品の発売状況を常時チェックし、使用量の多い薬剤を中心に適切な切替を実施したため。
			実績	88.7	91.3	91.4	91.5	92.9		1.4					
43	人件費比率(退職給付費を除く) [対医薬収益比率]	%	計画	46.7	45.5	54.7	52.9	52.3	50.5	49.9	△ 2.8	B	B	A	高度医療の積極的な提供に努めたことなどにより医薬収益が増加したことから、人件費比率は改善(低下)した。
			実績	46.4	55.4	51.3	51.5	49.5		△ 2.0					
44	人件費比率 [対医薬収益比率]	%	計画	51.5	50.4	58.9	57.1	55.1	54.6	52.7	△ 1.3	B	B	B	同様に医薬収益が増加したことから、人件費比率は改善(低下)した。
			実績	49.9	59.8	55.3	55.7	53.8		△ 1.9					
45	人件費比率 [対粗利益比率]	%	計画	(新設)	—	92.1	88.9	85.5	84.5	81.5	1.5	B	B	C	同様に医薬収益は増加した一方で、高度医療の割合が増加したことにより、材料費が増加したことから、前年度からは改善(低下)したものの、計画は達成していない。
			実績	(新設)	93.4	87.9	88.1	87.0		△ 1.1					
46	経常収支比率	%	計画	97.5	100.0	96.9	95.9	98.0	98.9	100.9	△ 1.5	A	A	E	同様に医薬収益は増加したものの、物価高騰等により、給与費、材料費、経費等が増加したことから、経常収支比率は悪化(低下)した。 (※前年度からの大幅な悪化は、主に医薬外収益(新型コロナウイルス感染症関連補助金等)の減少による。)
			実績	96.7	108.0	109.2	107.3	96.5		△ 10.8					
47	医薬収支比率	%	計画	89.4	93.0	86.8	87.9	90.1	91.0	93.1	△ 1.1	B	E	C	同様に医薬収益が増加した一方で、物価高騰等により、材料費、経費等が増加したことから、医薬収支比率は前年度から改善(上昇)したものの、計画を下回っている。
			実績	87.7	86.1	89.9	87.3	89.0		1.7					
48	材料費対医薬収益比率	%	計画	31.0	30.3	33.5	33.2	33.0	32.9	32.8	2.5	E	E	E	高度医療の割合が増加したことにより、薬品費、診療材料費が増加し、医薬収益に占める材料費の比率が悪化(上昇)した。
			実績	33.7	33.3	34.8	34.9	35.5		0.6					
49	うち 薬品費対医薬収益比率	%	計画	16.3	15.9	17.9	17.9	17.8	17.8	17.7	1.0	A	E	E	抗がん剤を使用するなど薬品費が高額な治療の割合が増加したことにより、医薬収益に占める材料費の比率は悪化(上昇)した。
			実績	17.6	17.5	17.7	18.4	18.8		0.4					
50	うち 診療材料費対医薬収益比率	%	計画	14.5	14.2	15.4	15.2	15.0	14.9	14.9	1.5	E	C	E	高額材料を使用する高度治療の割合が増加したことにより、医薬収益に占める材料費の比率は悪化(上昇)した。
			実績	15.9	15.7	16.9	16.4	16.5		0.1					

区分	令和5年度の主な取組	令和6年度の主な取組予定
1 良質な医療サービスの提供	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科救急・急性期医療の充実 ・治療抵抗性統合失調症対応薬の処方開始 ・ 専門外来の継続実施(児童・思春期外来をそれぞれ1日/週実施) ・ 訪問診療の継続・拡大 ・ 訪問看護、デイケアの充実 <p>③医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全カンファレンス(1回/週)における医療安全の推進に関する対応策の検討 ・ 多職種が連携する栄養サポートの実施(1回/週 ミールラウンド実施) ・ クリニカルパス、地域連携パスの推進 ・最新の手順動画等による教育の推進(ケアの充実) <p>④患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者満足度調査(1回/年)の実施 ・ 外来待ち時間調査(2回/年)の実施 ・ 病院のホームページの充実(ワーキンググループの活動強化) ・ 「こころの相談窓口」の継続 ・「看護支援外来」の継続 <p>⑤地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門・認定看護師による学校・病院への講師派遣 ・ 市のメンタル相談対応 	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科救急・急性期医療の充実 ・ 専門外来の継続実施(児童・思春期外来をそれぞれ1日/週実施) ・ 訪問診療の継続・拡大 ・ 訪問看護、デイケアの充実(デイケア送迎サービスの検討) <p>③医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全カンファレンス(1回/週)における医療安全の推進に関する対応策の検討 ・ 多職種が連携する栄養サポートの実施(1回/週 ミールラウンド実施) ・ クリニカルパス、地域連携パスの推進 ・最新の手順動画等による教育の推進(ケアの充実) <p>④患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者満足度調査(1回/年)の実施 ・ 外来待ち時間調査(2回/年)の実施 ・ 病院のホームページの充実(ワーキンググループの活動強化) ・ 「こころの相談窓口」の継続 ・「看護支援外来」の継続 <p>⑤地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門・認定看護師による学校・病院への講師派遣 ・ 市のメンタル相談対応
2 医療人材の確保・育成	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連大学との連携強化など <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修生、実習生の受け入れ <p>④勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークライフバランスの取り組みの更なる推進 	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連大学との連携強化など <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修生、実習生の受け入れ <p>④勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークライフバランスの取り組みの更なる推進
3 感染症・災害等への対応力の強化	<p>①感染症対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 診療の手引き(第9版)」の遵守・適宜の修正 ・ 新型コロナウイルス感染症対策のシミュレーション(入院受け入れ・院内発生)の継続実施 ・ 全職員手洗いチェックと指導(2回/年)の継続実施 <p>②大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害拠点精神科病院としての体制強化(災害対策チーム会の活動拡大と強化) ・ 防災訓練(1回/月うち2回/年は院内合同避難訓練)の充実 ・ 宿・日直者対象の大規模災害発生時のシミュレーション訓練(2回/年)の実施 	<p>①感染症対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 診療の手引き」の遵守・適宜の修正 ・ 強化した感染症対策(職員の手洗い、マスク着用呼びかけ等)の継続実施 ・ 結核患者収容モデル事業による「モデル病床」の継続 <p>②大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害拠点精神科病院としての体制強化(災害対策チーム会の活動拡大と強化) ・ 防災訓練(1回/月うち2回/年は院内合同避難訓練)の充実 ・ 宿・日直者対象の大規模災害発生時のシミュレーション訓練(2回/年)の実施
4 安定的な病院経営の確立	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員提案の促進 ・ 運営会議(1回/月)や医局会などにおける経営情報の共有 ・ 部門代表による収益確保の検討会の開催 <p>②運営体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内環境改善・整備の取り組みの充実(環境チームの活動強化) <p>③収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科急性期医師配置加算の算定 ・ 訪問診療の拡大 ・ 外来新規患者の受入体制の整備 <p>④費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬品費、診療材料費の節減 ・ 照明、空調の電気、灯油使用料の節約 	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員提案の促進 ・ 運営会議(1回/月)や医局会などにおける経営情報の共有 ・ 部門代表による収益確保の検討会の開催 <p>②運営体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内環境改善・整備の取り組みの充実(環境チームの活動強化) <p>③収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科急性期医師配置加算の算定 ・ 訪問診療の拡大 ・ 外来新規患者の受入体制の整備 <p>④費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬品費、診療材料費の節減 ・ 照明、空調の電気、灯油使用料の節約

収支計画の達成状況

〔R5計画差〕はR5計画額とR5実績額の差、
 〔R5前年度差〕はR4実績額とR5実績額の差を表す。

丸亀病院

(単位 百万円)

第3次←→第4次

項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差	計画差の要因、取組等
									R5前年度差	
①収益的収支										
収益計 (A)	計画	1,709	1,706	1,665	1,663	1,687	1,695	1,704	△ 153	
	実績	1,552	1,825	1,578	1,555	1,534	0	0	△ 21	
医業収益 (A1)	計画	1,096	1,103	1,013	1,024	1,031	1,038	1,047	△ 146	
	実績	947	910	915	898	885	0	0	△ 13	
入院収益	計画	687	694	669	677	682	687	693	△ 108	長期入院患者の死亡や地域移行により、慢性期患者が減少していることによる。
	実績	590	583	587	572	574			2	
外来収益	計画	360	360	299	302	304	306	309	△ 45	新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、主にデイケア患者数が回復しておらず、さらに後発医薬品への移行等による単価の減少により、減収となっている。
	実績	310	282	283	273	259			△ 14	
その他医業収益	計画	49	49	45	45	45	45	45	7	
	実績	47	45	45	53	52	0	0	△ 1	
一般会計負担金	計画	22	22	19	19	19	19	19	7	
	実績	20	19	17	25	26			1	
その他	計画	27	27	26	26	26	26	26	0	
	実績	27	26	28	28	26			△ 2	
医業外収益 (A2)	計画	613	603	652	639	656	657	657	△ 8	
	実績	605	709	662	656	648	0	0	△ 8	
一般会計繰入金	計画	559	559	603	603	603	603	603	△ 25	
	実績	558	533	555	563	578	0	0	15	
負担金	計画	559	559	603	603	603	603	603	△ 29	
	実績	558	533	555	563	574			11	
補助金	計画	0	0	0	0	0	0	0	4	
	実績	0	0	0	0	4			4	
長期前受金戻入	計画	38	28	27	31	48	49	49	2	
	実績	38	28	27	30	50			20	
その他医業外収益	計画	16	16	22	5	5	5	5	15	新型コロナウイルス感染症に係る補助金により計画を上回っている。(前年度からは減少)
	実績	9	148	80	63	20			△ 43	
特別利益	計画	0	0	0	0	0	0	0	1	
	実績	0	206	1	1	1			0	

収支計画の達成状況

(「R5計画差」はR5計画額とR5実績額の差、
「R5前年度差」はR4実績額とR5実績額の差を表す。)

丸亀病院

(単位 百万円)

第3次←→第4次

項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差		計画差の要因、取組等
									R5前年度差		
費用計 (B)	計画	1,863	1,858	1,849	1,856	1,856	1,883	1,860	50		
	実績	1,736	1,793	1,777	1,843	1,906	0	0	63		
医業費用 (B1)	計画	1,816	1,806	1,799	1,806	1,805	1,833	1,810	53		
	実績	1,696	1,724	1,733	1,798	1,858	0	0	60		
給与費	計画	1,083	1,087	1,182	1,178	1,154	1,182	1,156	78		
	実績	1,030	1,154	1,174	1,224	1,232	0	0	8		
退職給付費	計画	91	95	78	81	56	81	56	31		R5年度の退職者数が計画より多く、退職給付費が増加した。
	実績	69	79	80	83	87			4		
退職給付費以外	計画	992	992	1,104	1,097	1,098	1,101	1,100	47		
	実績	961	1,075	1,094	1,141	1,145			4		
材料費	計画	208	208	197	197	197	197	197	△ 57		
	実績	178	180	162	145	140			△ 5		
薬品費	計画	197	197	184	184	184	184	184	△ 53		患者数の減少、及び後発医薬品の採用促進による単価の減少による。
	実績	169	165	152	136	131			△ 5		
診療材料費	計画	9	9	11	11	11	11	11	△ 4		患者数の減少、及び新型コロナ対策に要する診療材料(アイソレーションガウン)の購入量が減少した。
	実績	7	13	8	8	7			△ 1		
経費	計画	422	422	336	336	336	336	336	26		
	実績	386	304	318	349	362			13		
減価償却費	計画	99	85	74	76	108	109	111	3		
	実績	98	82	74	75	111			36		
その他医業費用	計画	4	4	10	19	10	9	10	3		
	実績	4	4	5	5	13			8		
医業外費用 (B2)	計画	46	51	49	49	50	49	49	△ 5		
	実績	39	44	44	45	45			0		
特別損失	計画	1	1	1	1	1	1	1	2		
	実績	1	25	0	0	3			3		
医業収支 (A1-B1)	計画	△ 720	△ 703	△ 786	△ 782	△ 774	△ 795	△ 763	△ 199		
	実績	△ 749	△ 814	△ 818	△ 900	△ 973	0	0	△ 73		
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画	△ 153	△ 151	△ 183	△ 192	△ 168	△ 187	△ 155	△ 202		
	実績	△ 183	△ 149	△ 200	△ 289	△ 370	0	0	△ 81		
総収支 (X=A-B)	計画	△ 154	△ 152	△ 184	△ 193	△ 169	△ 188	△ 156	△ 203		
	実績	△ 184	32	△ 199	△ 288	△ 372	0	0	△ 84		

収支計画の達成状況

(「R5計画差」はR5計画額とR5実績額の差、
「R5前年度差」はR4実績額とR5実績額の差を表す。)

丸亀病院

(単位 百万円)

第3次←→第4次

項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差	計画差の要因、取組等
									R5前年度差	
(損益勘定留保資金) (Y)	計画	63	60	50	58	64	64	66	8	
	実績	61	56	49	46	72			26	
②資本的収支										
収入計 (C)	計画	113	47	70	258	75	76	76	29	
	実績	92	279	54	267	104	0	0	△ 163	
企業債	計画	79	24	47	232	33	33	33	22	(建設改良費と同様の理由)
	実績	60	25	31	239	55			△ 184	
長期借入金	計画	5	5	4	4	3	3	3	5	
	実績	3	2	3	7	8			1	
一般会計繰入金	計画	28	18	19	21	38	40	40	3	
	実績	27	19	20	21	41	0	0	20	
負担金	計画	28	18	18	21	38	39	39	2	
	実績	27	19	18	21	40			19	
補助金	計画	0	0	1	0	0	1	1	1	
	実績	0	0	2	0	1			1	
その他	計画	1	0	0	1	1	0	0	△ 1	
	実績	2	233	0	0	0			0	
支出計 (D)	計画	143	68	87	279	113	115	114	31	
	実績	122	69	72	287	144	0	0	△ 143	
建設改良費	計画	88	33	52	236	36	36	36	28	R4に病院情報システム(227百万円)の更新があったため、前年度から減少した。
	実績	67	34	37	246	64			△ 182	
企業債償還金	計画	50	29	30	37	72	75	75	4	
	実績	50	30	30	36	76			40	
その他	計画	5	6	5	6	5	4	3	△ 1	
	実績	5	5	5	5	4			△ 1	
収支差し引き (Z=C-D)	計画	△ 30	△ 21	△ 17	△ 21	△ 38	△ 39	△ 38	△ 2	
	実績	△ 30	210	△ 18	△ 20	△ 40	0	0	△ 20	
③単年度資金収支										
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画	△ 121	△ 113	△ 151	△ 156	△ 143	△ 163	△ 128	△ 197	
	実績	△ 153	298	△ 168	△ 262	△ 340	0	0	△ 78	

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上 D R1実績以上

B 対象年度計画以上 E R1実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未滿を超に読み替える。

丸亀病院

第3次←→第4次 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差	評価 R3	評価 R4	評価 R5	計画差の要因、取組等
											R5前年度差				
1 良質な医療サービスの提供															
①医療機能の充実															
3	救急患者の受入れ数	人	計画	156	156	150	150	150	150	150	17	A	A	A	受け入れる医療の定着を目指し、積極的に受け入れている。
			実績	146	117	159	207	167	△ 40						
4	デイケア患者数	人	計画	7,600	7,600	6,534	6,700	6,800	6,800	6,800	△ 2,289	E	C	E	・新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が減少して以降、回復していないため。 ・今後も急性期病棟からの退院患者に積極的に利用を促す。
			実績	6,648	4,404	4,394	4,563	4,511	△ 52						
5	訪問看護患者数	人	計画	1,100	1,100	968	1,000	1,000	1,000	1,000	△ 294	E	C	E	・訪問看護の効率的な実施を目指して、訪問範囲や一人当たりの回数を見直したため。 ・今後も急性期病棟から退院し、地域移行した患者を中心に、新たな利用を働きかける取り組みを強化する。
			実績	992	709	652	802	706	△ 96						
②地域連携の充実															
7	患者紹介率	%	計画	14.0	14.0	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	1.0	A	A	A	積極的に紹介患者を受け入れたため。
			実績	17.4	17.4	22.3	22.2	20.0	△ 2.2						
9	患者逆紹介率	%	計画	22.3	22.3	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	7.1	E	A	A	積極的に診療情報提供書を記載するなどして逆紹介が行えているため。
			実績	25.2	26.0	22.7	28.6	33.1	4.5						
10	紹介(受入)医療機関数	箇所	計画	68	70	60	60	60	60	60	18	A	A	A	積極的に紹介患者を受け入れたため。
			実績	59	58	67	96	78	△ 18						
③医療の安全と質の向上															
13	インシデント報告件数	件	計画	440	450	400	400	400	400	400	△ 43	E	C	D	報告制度に対する認識や理解度に、部署間でばらつきがあるため、改めて制度の重要性や報告手順について周知徹底する。
			実績	342	365	324	374	357	△ 17						
14	クリニカルパス適用率	%	計画	98.0	98.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	0.0	E	C	A	入院時のクリニカルパスの適用が定着したため。
			実績	89.0	89.0	82.0	82.0	90.0	8.0						
④患者サービスの向上															
17	外来待ち時間の短縮 (受付時間～診療開始)	分	計画	15	15	15	15	15	15	15	0.6	A	E	C	前年度から待ち時間を短縮したものの、計画を上回っている。
			実績	15.3	15.0	13.1	15.9	15.6	△ 0.3						
⑤地域医療への貢献															
18	公開講座等開催回数	回	計画	2	2	1	2	2	2	2	△ 2	C	C	C	新型コロナウイルスの感染状況を注視する必要がある、R5年度も実施しなかった。
			実績	2	0	0	0	0	0						

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上 D R1実績以上

B 対象年度計画以上 E R1実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未滿を超に読み替える。

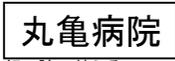
丸亀病院

第3次←→第4次 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差	評価 R3	評価 R4	評価 R5	計画差の要因、取組等
											R5前年度差				
2 医療人材の確保・育成															
②医療スタッフの確保・育成															
22	実習生受入人数(看護師)	人	計画	290	290	240	280	280	280	280	△ 82	E	C	C	実習カリキュラムの変更により、精神科病院での実習が減少しているため、計画を下回っている。
			実績	283	143	134	187	198	11						
23	実習生受入人数(その他)	人	計画	15	15	10	10	10	10	10	△ 3	E	E	C	実習カリキュラムの変更により、精神科病院での実習が減少しているため、計画を下回っている。
			実績	11	10	2	1	7	6						
3 感染症・災害等への対応力の強化															
①感染症対策の強化															
25	感染症に対応する体制の確保	-	計画	(新設)	-	確保	確保	確保	確保	確保	-	A	A	A	確保できている。
			実績	(新設)	確保	確保	確保	確保	-						
②大規模災害への対応力の強化															
27	DPAT(災害派遣精神医療チーム)数	チーム	計画	(新設)	-	4	4	4	4	4	△ 1	A	A	E	資格を持つ医師が1名減少した。
			実績	(新設)	4	4	4	3	△ 1						
28	業務継続計画(BCP)に沿った研修・訓練の実施数	回	計画	(新設)	-	1	1	1	1	1	0	A	A	A	計画通り、実施した。
			実績	(新設)	1	1	1	1	0						
29	防災訓練回数(法定分を除く)	回	計画	11	11	11	11	11	11	11	0	A	A	A	計画通り、基本的に毎月1回訓練を実施した。
			実績	11	11	12	11	11	0						
4 安定的な病院経営の確立															
③収益の確保															
32	稼働病床利用率	%	計画	75.6	75.6	70.5	70.5	70.5	70.5	70.5	△ 12.8	C	E	C	長期入院患者の死亡や地域移行により、慢性期患者が減少していることによる。
			実績	61.1	58.5	59.5	57.7	57.7	0.0						
7	患者紹介率(再掲)	%	計画	14.0	14.0	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	1.0	A	A	A	積極的に紹介患者を受け入れたため。
			実績	17.4	17.4	22.3	22.2	20.0	△ 2.2						
9	患者逆紹介率(再掲)	%	計画	22.3	22.3	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	7.1	E	A	A	積極的に診療情報提供書を記載するなどして逆紹介が行えているため。
			実績	25.2	26.0	22.7	28.6	33.1	4.5						
34	入院単価	円	計画	15,900	16,120	16,661	16,869	16,957	17,129	17,259	469	A	A	A	急性期治療病棟入院料算定患者割合の増加による。
			実績	16,916	17,518	17,332	17,431	17,426	△ 5						
35	外来単価	円	計画	10,315	10,315	9,801	9,916	9,828	9,743	9,661	△ 964	A	E	E	後発品割合及び院外処方箋の増加による投薬料の減少による。
			実績	9,785	10,013	9,831	9,077	8,864	△ 213						

中期指標の達成状況

(評価基準)
 A R7計画以上 D R1実績以上
 B 対象年度計画以上 E R1実績未満
 C 前年度実績以上 ※減少期待指標は、以上を以下、未滿を超に読み替える。



第3次←→第4次 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差	評価 R3	評価 R4	評価 R5	計画差の要因、取組等
											R5前年度差				
36	1日平均入院患者数	人	計画	118	118	110	110	110	110	110	△ 20	C	E	C	長期入院患者の死亡や地域移行により、慢性期患者が減少していることによる。
			実績	95	91	93	90	90	0						
37	1日平均外来患者数	人	計画	143	144	126	126	128	130	132	△ 8	C	C	E	新型コロナウイルス感染症の影響で患者数が減少して以降、未だ回復していないことに加え、医師の異動・退職等の影響で前年度比でも減少した。
			実績	132	116	119	124	120	△ 4						
38	新入院患者数	人	計画	192	192	160	168	168	168	168	△ 9	D	A	D	第四半期に病棟内でコロナ感染症が蔓延し、入院患者を抑制したことによる。
			実績	140	157	140	177	159	△ 18						
39	新外来患者数	人	計画	624	624	470	550	600	600	600	△ 24	A	A	E	精神科をはじめ他の診療科も全般的に新規外来患者が減少したことと、インフルエンザ予防接種が減少していることによる。
			実績	603	568	622	655	576	△ 79						
3	救急患者の受入れ数(再掲)	人	計画	156	156	150	150	150	150	150	17	A	A	A	受け入れる医療の定着を目指し、積極的に受け入れている。
			実績	146	117	159	207	167	△ 40						
41	平均在院日数	日	計画	222.1	221.5	254.8	239.0	239.6	239.0	239.0	△ 39.4	A	A	A	入院患者全体に占める急性期患者の割合が増加し、早期に退院する患者が増加した。
			実績	237.4	217.7	237.7	186.0	200.2	14.2						
④費用の適正化															
42	後発医薬品割合(数量ベース)	%	計画	34.0	35.0	65.0	70.0	75.0	80.0	80.0	8.1	B	B	A	積極的な後発品の採用に努めた。
			実績	38.9	61.7	67.4	78.6	83.1	4.5						
43	人件費比率(退職給付費を除く) [対医薬収益比率]	%	計画	90.5	89.8	109.1	107.1	106.4	105.9	105.1	23.0	E	E	E	患者数の減少により医薬収益が減少したため、人件費比率が悪化(上昇)した。
			実績	101.6	118.1	119.6	127.1	129.4	2.3						
44	人件費比率 [対医薬収益比率]	%	計画	98.8	98.5	116.8	115.0	111.8	113.7	110.4	27.4	E	E	E	患者数の減少により医薬収益が減少したため、人件費比率が悪化(上昇)した。
			実績	108.9	126.8	128.3	136.3	139.2	2.9						
46	経常収支比率	%	計画	91.8	91.9	90.1	89.7	91.0	90.1	91.6	△ 10.4	E	E	E	患者数の減少により医薬収益が減少したため、経常収支比率が悪化(低下)した。
			実績	89.5	91.6	88.7	84.3	80.6	△ 3.7						
47	医薬収支比率	%	計画	60.4	61.1	56.3	56.7	57.2	56.7	57.8	△ 9.6	C	E	E	患者数の減少により医薬収益が減少したため、医薬収支比率が悪化(低下)した。
			実績	55.8	52.8	52.8	49.9	47.6	△ 2.3						
48	材料費対医薬収益比率	%	計画	18.9	18.9	19.4	19.2	19.1	18.9	18.8	△ 3.3	A	A	A	後発医薬品の採用促進に努めた結果、医薬収益に占める材料費の比率は改善(低下)した。
			実績	18.7	19.8	17.7	16.1	15.8	△ 0.3						
49	うち 薬品費対医薬収益比率	%	計画	17.9	17.9	18.1	17.9	17.8	17.7	17.5	△ 3.0	A	A	A	後発医薬品の採用促進に努めた結果、医薬収益に占める材料費(薬品費)の比率は改善(低下)した。
			実績	17.8	18.2	16.6	15.1	14.8	△ 0.3						
50	うち 診療材料費対医薬収益比率	%	計画	0.8	0.8	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	△ 0.3	A	A	A	新型コロナ対策に要する診療材料の購入量が減少したため、医薬収益に占める材料費(診療材料費)の比率は改善(低下)した。
			実績	0.7	1.4	0.9	0.9	0.8	△ 0.1						

区分	令和5年度の主な取組	令和6年度の主な取組予定
1 良質な医療サービスの提供	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師の宿日直体制の維持、訪問診療、訪問看護の継続実施 心臓カテーテル治療や化学療法、各種専門外来など、地域で完結できる質の高い急性期医療の提供 地域包括ケア病床の積極的な運用 <p>②地域連携の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> K-MIXRIによる地域全体の診療の質の向上 中央病院との相互連携(患者紹介)強化 <p>③医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全対策の推進、院内感染防止対策の推進 医科歯科連携の実施 <p>④患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ、フェイスブックによる広報、患者満足度調査(1回/年)の実施 <p>⑤地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 五名地区でのへき地医療の継続 市民公開講座等の開催 	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師の宿日直体制の維持、訪問診療、訪問看護の継続実施 心臓カテーテル治療や化学療法、各種専門外来など、地域で完結できる質の高い急性期医療の提供 地域包括ケア病床の積極的な運用 <p>②地域連携の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> K-MIXRIによる地域全体の診療の質の向上 中央病院との相互連携(患者紹介)強化 <p>③医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全対策の推進、院内感染防止対策の推進 医科歯科連携の実施 <p>④患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ、フェイスブックによる広報、患者満足度調査(1回/年)の実施 <p>⑤地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 五名地区でのへき地医療の継続 市民公開講座等の開催
2 医療人材の確保・育成	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院局との連携による医師確保のための積極的活動 大学との連携を強化し、継続的な医師の派遣を要請 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> シャドーイング体験会の実施 ハローワークやホームページによる求人、人材紹介会社の活用など <p>④勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助者や看護補助者の適正な配置による医師や看護師の負担軽減 	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院局との連携による医師確保のための積極的活動 大学との連携を強化し、継続的な医師の派遣を要請 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> シャドーイング体験会の実施 ハローワークやホームページによる求人、人材紹介会社の活用など <p>④勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 働き方改革を実現するため、医師事務作業補助者や看護補助者の適正な配置による医師や看護師の負担軽減
3 感染症・災害等への対応力の強化	<p>①感染症対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策の実施 感染対策向上加算1施設のさぬき市民病院が主催する感染対策合同カンファレンスに参加(年4回) 感染対策向上加算に係る連携施設(さぬき市民病院)からの施設ラウンドを実施 <p>②大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染防止対策連携合同カンファレンスにおいて、新興感染症に対する机上訓練を実施 	<p>①感染症対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症等の新興感染症に係る医療措置協定締結医療機関として新興感染症発生時の病床確保等を行う 感染対策向上加算1施設のさぬき市民病院が主催する感染対策合同カンファレンスに参加(年4回) 感染対策向上加算に係る連携施設(さぬき市民病院)からの施設ラウンドを実施 <p>②大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務継続計画(BCP)に基づく訓練の実施 感染防止対策連携合同カンファレンスにおいて、新興感染症に対する机上訓練を実施
4 安定的な病院経営の確立	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営委員会(1回/四半期)における経営情報の共有 <p>③収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病床の積極的な運用による病床稼働率の向上 人間ドックオプション検査の積極的な広報 新たな施設基準取得 医事体制強化による地域連携の推進 <p>④費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品の採用拡大による薬品費の節減 	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営委員会(1回/四半期)における経営情報の共有 <p>③収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病床の積極的な運用による病床稼働率の向上 人間ドックオプション検査の積極的な広報 新たな施設基準取得 医事体制強化による地域連携の推進 <p>④費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品の採用拡大による薬品費の節減

収支計画の達成状況

(「R5計画差」はR5計画額とR5実績額の差、
「R5前年度差」はR4実績額とR5実績額の差を表す。)

白鳥病院

(単位 百万円)

第3次←→第4次

項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差	計画差の要因、取組等
									R5前年度差	
①収益的収支										
収益計 (A)	計画	3,172	3,207	2,947	2,910	2,928	2,978	2,998	△ 308	
	実績	2,656	3,006	2,950	2,795	2,620	0	0	△ 175	
医業収益 (A1)	計画	2,800	2,837	2,302	2,424	2,442	2,462	2,480	△ 288	
	実績	2,257	2,072	2,214	2,112	2,154	0	0	42	
入院収益	計画	1,686	1,723	1,514	1,624	1,637	1,649	1,661	△ 260	医師の減少により入院患者数が減少した一方、高度医療の積極的な実施により入院単価が増加したため、前年度からは改善したものの、計画を下回った。
	実績	1,428	1,316	1,471	1,321	1,377			56	
外来収益	計画	978	978	672	684	689	697	703	△ 16	医師の減少により外来患者数が減少したことによる。
	実績	715	652	625	681	673			△ 8	
その他医業収益	計画	136	136	116	116	116	116	116	△ 12	
	実績	114	104	118	110	104	0	0	△ 6	
一般会計負担金	計画	60	60	50	50	50	50	50	1	
	実績	51	47	47	49	51			2	
その他	計画	76	76	66	66	66	66	66	△ 13	
	実績	63	57	71	61	53			△ 8	
医業外収益 (A2)	計画	368	361	632	486	480	510	509	△ 21	
	実績	396	865	723	683	459	0	0	△ 224	
一般会計繰入金	計画	209	208	359	359	359	359	359	△ 26	
	実績	240	336	327	345	333	0	0	△ 12	
負担金	計画	209	208	359	359	359	359	359	△ 30	
	実績	240	336	327	345	329			△ 16	
補助金	計画	0	0	0	0	0	0	0	4	
	実績	0	0	0	0	4			4	
長期前受金戻入	計画	130	125	126	106	99	130	129	3	
	実績	131	130	129	105	102			△ 3	
その他医業外収益	計画	29	28	147	21	22	21	21	2	新型コロナウイルス感染症に係る補助金により計画を上回っている。(前年度からは減少)
	実績	25	399	267	233	24			△ 209	
特別利益	計画	4	9	13	0	6	6	9	1	
	実績	3	69	13	0	7			7	

収支計画の達成状況

(「R5計画差」はR5計画額とR5実績額の差、
「R5前年度差」はR4実績額とR5実績額の差を表す。)

白鳥病院

(単位 百万円)

第3次←→第4次

項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差	計画差の要因、取組等
									R5前年度差	
費用計 (B)	計画	3,263	3,267	3,173	3,113	3,064	3,151	3,116	135	
	実績	3,055	3,111	3,064	3,097	3,199	0	0	102	
医業費用 (B1)	計画	3,113	3,109	3,029	2,972	2,925	3,014	2,981	82	
	実績	2,921	2,919	2,926	2,960	3,007	0	0	47	
給与費	計画	1,536	1,542	1,696	1,690	1,654	1,696	1,657	24	
	実績	1,437	1,628	1,638	1,698	1,678	0	0	△ 20	
退職給付費	計画	137	143	116	121	84	121	84	47	R5年度の退職者数が計画時より多く、退職給付費が増加した。
	実績	104	118	120	124	131			7	
退職給付費以外	計画	1,399	1,399	1,580	1,569	1,570	1,575	1,573	△ 23	
	実績	1,333	1,510	1,518	1,574	1,547			△ 27	
材料費	計画	718	718	498	502	492	495	497	17	
	実績	503	478	464	455	509			54	
薬品費	計画	298	298	225	226	226	227	227	10	化学療法件数の増加に伴う、高額な抗がん剤の消費の増加による。
	実績	215	208	192	213	236			23	
診療材料費	計画	417	417	270	273	263	265	267	7	ペースメーカーや電極カテーテル等の高額材料の消費の増加による。
	実績	285	267	270	238	270			32	
経費	計画	583	583	549	549	549	549	549	49	
	実績	699	539	557	582	598			16	
減価償却費	計画	259	249	243	201	184	245	242	0	
	実績	261	254	244	197	184			△ 13	
その他医業費用	計画	17	17	43	30	46	29	36	△ 8	
	実績	21	20	23	28	38			10	
医業外費用 (B2)	計画	141	149	143	141	139	137	135	4	
	実績	133	139	137	137	143			6	
特別損失	計画	9	9	1	0	0	0	0	49	医師公舎解体に係る固定資産売却損
	実績	1	53	1	0	49			49	
医業収支 (A1-B1)	計画	△ 313	△ 272	△ 727	△ 548	△ 483	△ 552	△ 501	△ 370	
	実績	△ 664	△ 847	△ 712	△ 848	△ 853	0	0	△ 5	
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画	△ 86	△ 60	△ 238	△ 203	△ 142	△ 179	△ 127	△ 395	
	実績	△ 401	△ 121	△ 126	△ 302	△ 537	0	0	△ 235	
総収支 (X=A-B)	計画	△ 91	△ 60	△ 226	△ 203	△ 136	△ 173	△ 118	△ 443	
	実績	△ 399	△ 105	△ 114	△ 302	△ 579	0	0	△ 277	

収支計画の達成状況

(「R5計画差」はR5計画額とR5実績額の差、
「R5前年度差」はR4実績額とR5実績額の差を表す。)

白鳥病院

(単位 百万円)

第3次←→第4次

項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差	計画差の要因、取組等
									R5前年度差	
(損益勘定留保資金) (Y)	計画	136	126	136	113	113	126	129	36	
	実績	143	128	120	115	149			34	
②資本的収支										
収入計 (C)	計画	188	174	350	177	517	150	291	179	
	実績	217	234	295	203	696	0	0	493	
企業債	計画	44	28	112	79	419	21	160	149	(建設改良費に記載の要因と同様)
	実績	73	42	105	81	568			487	
長期借入金	計画	12	12	11	8	8	8	9	△ 5	
	実績	4	3	2	5	3			△ 2	
一般会計繰入金	計画	132	133	131	90	90	120	121	34	
	実績	132	146	188	117	124	0	0	7	
負担金	計画	132	133	131	90	90	120	121	△ 2	
	実績	132	146	130	89	88			△ 1	
補助金	計画	0	0	0	0	0	0	0	36	
	実績	0	0	58	28	36			8	
その他	計画	0	1	96	0	0	1	1	1	
	実績	8	43	0	0	1			1	
支出計 (D)	計画	321	308	440	266	606	271	411	178	
	実績	350	374	426	291	784	0	0	493	
建設改良費	計画	57	41	178	87	427	29	169	180	MRI、電子カルテシステム等への設備投資が増加した。
	実績	86	96	165	114	607			493	
企業債償還金	計画	252	254	249	167	168	231	236	△ 1	
	実績	252	264	249	167	167			0	
その他	計画	12	13	13	12	11	11	6	△ 1	
	実績	12	14	12	10	10			0	
収支差し引き (Z=C-D)	計画	△ 133	△ 134	△ 90	△ 89	△ 89	△ 121	△ 120	1	
	実績	△ 133	△ 140	△ 131	△ 88	△ 88	0	0	0	
③単年度資金収支										
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画	△ 88	△ 68	△ 180	△ 179	△ 112	△ 168	△ 109	△ 406	
	実績	△ 389	△ 117	△ 125	△ 275	△ 518	0	0	△ 243	

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上 D R1実績以上

B 対象年度計画以上 E R1実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

白鳥病院

第3次←→第4次 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差	評価 R3	評価 R4	評価 R5	計画差の要因、取組等
											R5前年度差				
1 良質な医療サービスの提供															
①医療機能の充実															
1	救急車受入(搬入)患者数	人	計画	945	950	580	600	630	660	700	△ 93	B	E	E	医師の減少により、受入人数が減少したため。
			実績	640	562	584	542	537	△ 5						
2	高額手術件数(6,000点以上)	件	計画	1,070	1,100	710	725	745	770	800	△ 70	C	E	C	医師の減少により、対象患者の受入人数が減少したため計画を下回ったが、積極的な受入を図り、前年度を上回った。
			実績	833	697	697	609	675	66						
5	訪問看護患者数	人	計画	600	600	400	450	500	550	600	△ 93	B	E	E	訪問看護利用者の入院・在宅復帰困難等の理由により、利用者数が減少したため。
			実績	667	385	434	433	407	△ 26						
6	訪問診療患者数	人	計画	268	270	300	300	300	300	300	44	A	A	A	R2年度から自治医科大学出身の医師が配属され、積極的に訪問診療を実施している。
			実績	198	364	345	385	344	△ 41						
											45,565.0				
②地域連携の充実															
7	患者紹介率	%	計画	22.8	23.0	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0	4.9	A	A	A	積極的な紹介患者の受入れを行った。
			実績	29.1	45.4	41.5	36.6	37.9	1.3						
9	患者逆紹介率	%	計画	16.4	17.3	26.5	27.5	28.5	29.5	30.5	△ 1.2	E	C	C	積極的に他院へ患者紹介を行い、前年度より増加したものの、計画値は下回った。
			実績	25.6	25.2	21.5	23.4	27.3	3.9						
10	紹介(受入)医療機関数	箇所	計画	240	245	200	200	200	200	200	△ 2	E	E	C	一度のみ紹介のあった医療機関数が増加し、計画値とほぼ同値となった。
			実績	209	186	181	178	198	20						
③医療の安全と質の向上															
13	インシデント報告件数	件	計画	520	550	440	460	490	520	550	△ 50	C	B	D	医療安全推進委員会において、積極的な報告を推進しているものの、患者数の減少により報告件数が計画値を下回った。
			実績	360	406	438	503	440	△ 63						
14	クリニカルパス適用率	%	計画	46.0	46.0	46.0	46.0	46.0	46.0	46.0	△ 16.1	D	E	E	R1から常勤の消化器内科医が不在になったことなどにより、大腸EMR等のパスを適用する症状の患者数が減少した。また、心カテ検査件数の減少に伴い、適用率が減少した。
			実績	41.1	43.0	41.1	35.9	29.9	△ 6.0						
④患者サービスの向上															
17	外来待ち時間の短縮 (予約開始期～診療開始)	分	計画	42	40	37	37	37	37	37	△ 8	A	A	A	内科の午後診療を予約・紹介患者のみとしているため、待ち時間が減少した。
			実績	40.9	37.4	30.1	26.5	29.5	3.0						
⑤地域医療への貢献															
18	公開講座等開催回数	回	計画	16	16	0	8	16	16	16	△ 14	B	C	C	新型コロナウイルスの感染者数が減少したことから開催したものの、計画値を下回った。
			実績	18	0	0	0	2	2						

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上 D R1実績以上

B 対象年度計画以上 E R1実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

白鳥病院

第3次←→第4次 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差	評価 R3	評価 R4	評価 R5	計画差の要因、取組等
											R5前年度差				
2 医療人材の確保・育成															
②医療スタッフの確保・育成															
22	実習生受入人数(看護師)	人	計画	45	46	50	50	55	55	60	22	A	A	A	実習生の積極的な受け入れに努めた。
			実績	86	36	136	69	77	8						
23	実習生受入人数(その他)	人	計画	14	14	6	6	6	6	6	3	A	A	A	実習生の積極的な受け入れに努めた。
			実績	3	5	7	7	9	2						
3 感染症・災害等への対応力の強化															
①感染症対策の強化															
25	感染症に対応する体制の確保	-	計画	(新設)	-	確保	確保	確保	確保	確保	-	A	A	A	外来トリアージを実施し、発熱等の新型コロナウイルス感染症疑い患者は、別室で感染対策を実施して診察を行うなど、感染症対策を強化した。
			実績	(新設)	確保	確保	確保	確保	-						
②大規模災害への対応力の強化															
28	業務継続計画(BCP)に沿った研修・訓練の実施数	箇所	計画	(新設)	-	1	1	1	1	1	△1	E	C	C	現在計画の見直しをしているところであり、見直し後、速やかに実施することとしている。
			実績	(新設)	1	0	0	0	0						
29	防災訓練回数(法定分を除く)	回	計画	4	4	1	2	3	3	3	9	C	C	A	看護部において、災害発生時の初動対応についてはシミュレーション、給食の上膳・配膳対応については机上訓練を実施した。
			実績	2	0	0	0	12	12						
4 安定的な病院経営の確立															
③収益の確保															
32	稼働病床利用率	%	計画	71.0	72.3	68.6	70.3	72.0	74.0	75.5	△17.5	C	E	E	医師の減少に伴い、入院患者数が減少したため。
			実績	61.9	56.6	61.4	60.3	54.5	△5.8						
33	地域包括ケア病床稼働率	%	計画	(新設)	-	90.0	80.0	80.0	80.0	80.0	△23.8	C	E	E	医師の減少に伴い、入院患者数が減少したため。また、R5.10から、地ケア病床を37→45に増床したことも影響している。
			実績	(新設)	62.7	73.6	67.3	56.2	△11.1						
7	患者紹介率(再掲)	%	計画	22.8	23.0	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0	4.9	A	A	A	積極的な紹介患者の受け入れを行った。
			実績	29.1	45.4	41.5	36.6	37.9	1.3						
9	患者逆紹介率(再掲)	%	計画	16.4	17.3	26.5	27.5	28.5	29.5	30.5	△1.2	E	C	C	積極的に他院へ患者紹介を行い、前年度より増加したものの、計画値は下回った。
			実績	25.6	25.2	21.5	23.4	27.3	3.9						
34	入院単価	円	計画	43,250	43,500	40,841	42,722	41,958	41,207	40,716	4,722	A	E	A	高額手術件数の増加のため。
			実績	42,018	43,004	44,325	40,548	46,680	6,132						
35	外来単価	円	計画	8,548	8,548	9,304	9,176	9,070	8,993	8,894	1,407	D	A	A	化学療法件数の増加のため。
			実績	8,331	8,922	8,644	9,380	10,477	1,097						

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上 D R1実績以上

B 対象年度計画以上 E R1実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

白鳥病院

第3次←→第4次 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5計画差	評価 R3	評価 R4	評価 R5	計画差の要因、取組等
											R5前年度差				
36	1日平均入院患者数	人	計画	107	109	102	104	107	110	112	△ 26	C	E	E	医師の減少に伴い、入院患者数が減少したため。
			実績	93	84	91	89	81	△ 8						
37	1日平均外来患者数	人	計画	469	471	299	307	313	319	326	△ 49	B	C	E	医師の減少に伴い、外来患者数が減少したため。
			実績	358	301	299	299	264	△ 35						
38	新入院患者数	人	計画	2,264	2,300	1,720	1,900	1,950	2,000	2,050	△ 424	B	E	E	医師の減少に伴い、入院患者数が減少したため。
			実績	1,899	1,819	1,885	1,651	1,526	△ 125						
39	新外来患者数	人	計画	11,790	11,900	4,827	5,300	5,600	6,000	6,500	△ 454	B	A	E	医師の減少に伴い、外来患者数が減少したため。
			実績	7,654	4,691	5,659	7,333	5,146	△ 2,187						
1	救急車受入(搬入)患者数(再掲)	人	計画	945	950	580	600	630	660	700	△ 93	B	E	E	医師の減少により、受入人数が減少したため。
			実績	640	562	584	542	537	△ 5						
41	平均在院日数	日	計画	18.0	18.0	21.6	21.0	21.0	21.0	21.0	△ 1.6	C	C	D	退院調整が困難で、退院までに時間要した患者が多かったが、計画値は下回った。
			実績	17.9	16.7	17.7	19.6	19.4	△ 0.2						
④費用の適正化															
42	後発医薬品割合(数量ベース)	%	計画	77.0	80.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	11.1	A	A	A	積極的に後発医薬品の採用に努めた。
			実績	78.3	84.8	90.9	95.5	96.1	0.6						
43	人件費比率(退職給付費を除く) [対医薬収益比率]	%	計画	50.0	49.3	68.6	64.8	64.3	64.0	63.5	7.5	B	E	C	高度医療の積極的な提供に努めたことなどにより医薬収益が増加したことから、人件費比率は前年度から改善(低下)したものの、計画は達成していない。
			実績	59.0	72.8	68.6	74.5	71.8	△ 2.7						
44	人件費比率 [対医薬収益比率]	%	計画	54.9	54.4	73.7	69.8	67.7	68.9	66.8	10.2	C	E	C	同様に医薬収益が増加したことから、人件費比率は前年度から改善(低下)したものの、計画は達成していない。
			実績	63.6	78.6	74.0	80.4	77.9	△ 2.5						
46	経常収支比率	%	計画	97.3	98.1	92.5	93.5	95.3	94.3	95.9	△ 12.3	A	D	E	同様に医薬収益は増加したものの、物価高騰などにより、材料費、経費等が増加したことから、経常収支比率は悪化(低下)した。 (※前年度からの大幅な悪化は、主に医薬外収益(新型コロナウイルス感染症関連補助金等)の減少による。)
			実績	86.9	96.0	95.9	90.2	83.0	△ 7.2						
47	医薬収支比率	%	計画	89.9	91.2	76.0	81.5	83.5	81.7	83.2	△ 11.9	C	E	C	同様に医薬収益が増加した一方で、物価高騰などにより、材料費、経費等が増加したことから、医薬収支比率は前年度から改善(上昇)したものの、計画を下回っている。
			実績	77.3	71.0	75.6	71.3	71.6	0.3						
48	材料費対医薬収益比率	%	計画	25.6	25.3	21.6	20.7	20.1	20.1	20.0	3.5	B	D	E	高度医療の割合が増加したことにより、薬品費、診療材料費が増加し、医薬収益に占める材料費の比率が悪化(上昇)した。
			実績	22.3	23.0	21.0	21.5	23.6	2.1						
49	うち 薬品費対医薬収益比率	%	計画	10.6	10.5	9.8	9.3	9.2	9.2	9.1	1.8	A	E	E	抗がん剤を使用するなど薬品費が高額な治療の割合が増加したことにより、医薬収益に占める材料費の比率は悪化(上昇)した。
			実績	9.5	10.0	8.7	10.1	11.0	0.9						
50	うち 診療材料費対医薬収益比率	%	計画	14.9	14.7	11.7	11.3	10.8	10.8	10.8	1.7	C	B	D	高額材料を使用する高度治療の割合が増加したことにより、医薬収益に占める材料費の比率は悪化(上昇)した。
			実績	12.6	12.9	12.2	11.3	12.5	1.2						